

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-83134(P2006-83134A)

【公開日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-013

【出願番号】特願2004-271927(P2004-271927)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/202 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 6 1 K 31/232 (2006.01)

A 6 1 K 31/661 (2006.01)

A 6 1 K 31/7024 (2006.01)

A 6 1 K 35/74 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/202

A 2 3 L 1/30 Z

A 6 1 K 31/232

A 6 1 K 31/661

A 6 1 K 31/7024

A 6 1 K 35/74 G

A 6 1 P 25/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月12日(2007.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

実施例3. 行動観察試験によるTGA40Sの行動異常に対する効果評価

実験群として、2～3ヶ月齢雄性ICR系マウス51匹を対照飼料群(27匹)とTGA40S配合飼料群(24匹)の2群に分け、それぞれの群に、表1に示した対照飼料およびTGA40S配合飼料を与えた。さらに各群を、拘束をかけない非拘束群(非拘束-対照食群(9匹)、非拘束-ARA食群(12匹))と拘束をかける拘束群(拘束-対照食群(18匹)、拘束-ARA食群(12匹))に分けた。ワイヤーメッシュ拘束チューブによる拘束は、摂取開始から3週間後に1回、6時間だけ行った。その後も実験期間中は、それぞれの群に対して表1に示した対照飼料またはTGA40S配合飼料を与え続けた。なお、TGA40S配合飼料に使用したTGA40Sは実施例1で得たものを使用した。